

# Grand Toit News

グラントワニュース

vol. 82  
Summer 2025

島根県芸術文化センター  
SHIMANE ARTS CENTER  
石見美術館  
IWAMI ART MUSEUM  
いわみ芸術劇場  
IWAMI ARTS THEATER

企画展紹介 「世界で活躍するアーティスト、加藤泉  
故郷、島根県で初めての大規模個展」

劇場事業紹介 「響き渡るジャズの神髄——渡辺貞夫カルテット2025」

- わたしのおすすめ
- リレーでコラム ほか

お盆も休まず営業！

## 大規模個展 初めての 島根県で 故郷、 アーティスト、加藤泉



図2 《無題》 2022年  
木にアクリル絵具、  
プラモデル、  
ステンレススチール、  
ソフトビニール  
撮影：岡野圭  
© 2022 Izumi Kato

開館20周年記念企画展  
「加藤泉 何者かへの道」  
について、展覧会担当の  
川西由里専門学芸員に  
みどころをうかがいました。

加藤泉さんは島根県出身とのことですが、どんな活動をされてきた方ですか？

1969年、島根県安来市生まれで、武蔵野美術大学造形学部油絵科を卒業後、1990年代後半か

ら作家として本格的に活動を始めました。現在は東京と香港を拠点として、世界中で作品を発表しています。

加藤さんは油絵でシンプルなかたちの「人がた」を描き続けて

いますが、2000年代からは木彫にも取り組み、現在は石や金属や布、ソフトビニールやプラモデルなど、様々な素材を制作に取り入れています。最近では京友禅の老舗・千總との共同制作やファッションブランド ANTEPRIMA のミラノコレクションへの参加など、幅広い分野で活躍中です。

今回の展覧会でも色々なタイプの作品が見られるんですね？

はい。島根県で初めての個展ということで、高校生時代の作品から最新作までを展示して、これまでの歩みを振り返る内容です。加藤さんが取り組んできた多彩な表現をたっぷりご紹介いたします。

まずは油絵。モチーフはずっと「人がた」なのですが表現は変化し続けているので、その流れを追いかけて見るのも楽しいですよ。そして気になる絵があればじっと向き合ってみてください。題名のほとんどが《無題》で、描かれている内容も簡潔なものが多いので、見る人によって様々な解釈が可能です。

それから先ほども言いましたように、素材や技法の幅広さも楽しめます。例えばこちらの立体(図2)は、木彫にプラモデルを組み合わせた作品です。

あざやかな色の顔にまず引きつけられますが、よく見るといろいろな動物が乗っていますね！

加藤さんの作品を初めて見る方は、子どものような妖怪のような顔の造形にびっくりするかもしれませんが、ミステリアスでありながら愛らしいところもあって、気がつけば魅了されている、という声もよくききます。喜怒哀楽の表情がつけられることはないのですが、動物や虫、魚などとの組み合わせには、なんともいえないおかしみもわいてきます。



図1 《無題》 2006年 油彩・キャンバス  
豊田市美術館蔵 © 2006 Izumi Kato

展示室を3つ使うとのこと。すごいボリュームになりそうですね。

規模が大きだけでなく、A、C、D3つの展示室それぞれの特徴を活かした展示になります。加藤さんが空間をどう使うかもあわせてお楽しみください。天井が高い展示室Cでは、高さ3メートルを超える彫刻や、天井から吊り下げられる大きな布の作品など迫力いっぱいの作品が見られます。

一方、赤茶色のシックな内装の展示室Aでは、ケースの中に小型の作品を陳列して、表現の変遷を集中して見られるようにと考えています。

そして一番大きな展示室Dで

は大型の絵画を中心に初期から最新作まで各時期の代表的な作品によって、加藤さんが歩んできた「道」を紹介いたします。

本当に、これまでの活動の全貌が見渡せるんですね！展示だけでなく音楽ライブもあるとききました。

この展覧会では、加藤さんの音楽活動も紹介します。加藤さんが参加している2つのバンド「THE TETRAPOTZ」、 「HAKAIDERS」のレコードジャケットやプロモーションビデオを展示するほか、ライブもありますので、ぜひ聴きにきてください！

# IZUMI KATO ROAD TO SOMEBODY

2025.7.5 (Sat.) - 9.1 (Mon.)  
加藤泉 何者かへの道

開館時間 9時30分～18時(展示室への入場は17時30分まで)  
休館日 毎週火曜日(8月12日は開館)

主催 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社  
後援 芸術文化とふれあう協議会、安来市、安来市教育委員会

【観覧料】  
当日券 一般 1,300(1,050)円、大学生 600(450)円、高校生以下無料  
前売券 一般 1,100円、大学生 500円  
●( )内は20名以上の団体料金  
●各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方およびその介助者(1名まで)は入場無料  
●外国人は当日料金が半額(パスポートをご提示ください)  
●前売券はグラントワ総合案内カウンター(7月4日まで)およびオンラインチケット「シマチケ」(WEBサイト)でお求めになれます

島根県立石見美術館 島根県芸術文化センター「グラントワ」内  
Iwami Art Museum

### 関連プログラム

①対談1  
加藤泉×石倉敏明  
(秋田公立美術大学美術学部 准教授、  
芸術人類学者、神話学者)  
7月5日(土) 14:00～15:30  
会場：多目的ギャラリー／無料／事前申込制

②対談2  
加藤泉×原田マハ(作家)  
8月3日(日) 14:00～15:00  
会場：小ホール／無料／事前申込制

③MUSEUM×THEATER ミュージア vol.25  
THE TETRAPOTZ+SNATCH ライブ  
8月30日(土) 18:00開演  
会場：中庭広場(雨天時は大ホール)  
無料／申込不要  
加藤泉を含むアーティスト5名によるバンドが、  
展覧会の締めくりにパフォーマンスをくり広げます。  
\*①②の申込方法は後日当館ホームページ等で発表  
します



《無題》 2024年 Untitled, 2024 © 2024 Izumi Kato 撮影：岡野圭

ミズ観に レビュー  
・日々の忙しさから帰省し、仏像や絵を見て時が止まりました。リラックスした時間を過ごせました。お手洗にあるお花がとても綺麗でした。又、帰ります。(広島市・30代/企画展「石見の祈りと美—未来へつなぐ中世の宝—」)  
・なかしゅんさんが言われていたように、互たくさんの素敵な会場でHYさんも印象に残る場所になってくれたらいいなあ！そしてまたぜひ来て欲しい!! 益田にいてよかった!! (益田市・30代/HY 25th Anniversary BEST!! Kary TOUR 2024-2025)  
・踊ったり、ダンスしたりは前もって練習してその通りに行くことが多い、その場で音や雰囲気に合わせて、その子自体が持っている動きや楽器の使い方を引き出せてるんだなあと感じました。今後の支援に活かしていきたい。(益田市・30代/にぎやかな日々)

# 響き渡るジャズの神髄

## 渡辺貞夫カルテット2025

昨年好評いただいたジャズピアニスト・大西順子に続き、今年も国内外で活躍するアーティストを迎えたジャズ公演を開催します。グラントワ開館20周年を記念して登場するのは、レジェンド・渡辺貞夫です！大ホールの豊かな音響空間で、ジャズの醍醐味を堪能できる特別な一夜をお届けします。



り入れ、日本ジャズ界に新風を吹き込みました。現在も年間60公演近くをこなし、第一線で活躍しています。

にタッチできたら。それが僕の願いです」という彼の言葉どおり、聴衆に対する真摯な姿勢と情熱が、その演奏に表れています。

スやフュージョンでも活躍し、緻密かつダイナミックなプレイで魅了します。ベースの三嶋大輝は、確かな技術と柔軟な表現力で注目を集める若き才能。ドラムの竹村一哲は、スウィング感あふれるプレイと繊細なタッチで、国内外から高く評価されています。彼らが繰り広げるインタープレイが、渡辺とどう響きあうのか。その瞬間にしか生まれない音楽の魔法を、ぜひ、大ホールで体感してください。

### 92歳、音楽の原点と歩み

サクソ奏者・渡辺貞夫は、1933年宇都宮生まれ。終戦後、進駐軍の音楽や映画を通じてジャズに魅了され、クラリネット、サクソを手にします。タンゴバンドでの演奏を経て上京、米軍キャンプやキャバレーで経験を積みました。62年に渡米してパークリー音楽院でジャズ理論を学び、フルート奏者としても活躍。帰国後は、ブラジル音楽やアフリカのリズムを楽曲に取

### 心に響く温かな音色

近年では、グラントワでもコンサートを行ったオーケストラ「新日本フィルハーモニー交響楽団」とのアルバムや、7年ぶりのパラードアルバム『PEACE』を発表。『PEACE』には、ウクライナ情勢を受け、平和への思いを音楽で伝えたいとの願いを込めた曲も収録されています。こちらに語りかけるような温かみのある音色が魅力の、渡辺のサクソ。音楽を通じて皆さんの心

### 4人で織りなす極上セッション

生演奏の熱量や、スリリングに変化する即興の妙、心地よいリズムが生み出す高揚感が、ジャズならではの魅力です。そして今回、渡辺を支えるメンバーも実力派が集結。ピアノの小野塚晃は、ジャズのみならずポップ

### グラントワ開館20周年記念「渡辺貞夫カルテット2025」

2025年6月22日(日) 開場 16:15 / 開演 17:00 大ホール

[料金] (全席指定・税込) 一般 8,500円

[出演者] 渡辺貞夫(サクソ) / 小野塚晃(ピアノ) / 三嶋大輝(ベース) / 竹村一哲(ドラム)



野村章代  
(アテンダントチーフ)

職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。

第15回は、アテンダントチーフの野村章代さんです。

グラントワで勤務するようになって20年、長い総務経験を経て現在はアテンダントとしてご来館される沢山のお客様と日々関わらせて頂いております。この部署に携わるようになって常々感じるのは、グラントワという箱の中に詰まった、作品を創り上げる人達の愛情や情熱によってお客様の笑顔が生まれ、そのお客様の笑顔がグラントワを支える大きな力になっているという事です。ご来館されたお客様がキラキラした笑顔で、「来てよかった!」「楽しかった!」

と感じたままの素直な気持ちを言葉にして私達に伝えてくださいます。それが何より私達は嬉しく、グラントワの未来への可能性を強く感じる瞬間でもあります。訪れたお客様を笑顔にすること、そしてグラントワがお客様の日常に少しでも彩りを添える事のできる存在になれるよう、スタッフ全員が気持ちをつなげて日々お客様と接しています。開館20周年という節目の年を迎えるグラントワに、日常から少し離れて心の栄養補給にフラッと足を運んでみませんか。

今回は島田仁志さん(舞台技術振興課)の予定です。

## The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection

専門学芸員 左近充直美

長さ4.9cm。掌の内におさまる小さな根付です。鮑の貝殻のうへに蟹がちょこんと乗っている、ただそれだけの意匠ですが、象牙から彫り出された蟹は、今にも動き出しそうなほど超リアル。貝殻表面の細かい線彫りも、連続する孔の表現もすべて見事な技巧尽くしで、ずっと眺めていられます。

この根付は、江戸時代の寛政7年、石見根付を興した初代清水巖(号「富春」)の作です。それがなぜわかるのか。根付をひっ



富春  
あわび かに  
《鮑に蟹》  
寛政7(1795)年 当館蔵

くり返すと、貝殻の裏も実物を模しており、薄い縁部分に、これまた「超絶技巧」の小さな文字で長銘が彫ってあるのです。簡単に要約すると「今の江津市、江の川付近の青陽堂にいる富春が63歳の時、寛政7年に彫ったよ」ということ。230年前の63歳。天晴れです。

## 報告します!

イワミ・アート・ラボラトリー事業

あなたとわたし『あなた』を通して、

『わたし』のまち

津和野町民の表現機会の創出を目的として、3か年計画で開催してきた「イワミ・アート・ラボラトリー」。3年目の今年は、明治大学の岸磨貴子氏を中心とするアートベース・プロジェクトチームと連携し、即興演劇の手法を用いた「MyMapづくり」「他者理解のワーク」、津和野住民の多様性を可視化する「100%津和野」のワークショップを開催しました。演劇という“遊び”の力を借りることで、年齢や立場を超えたフラットな対話の場が生まれました。文化芸術が地域づくりに果たす役割の可能性を感じました。



当日の様子

## INFORMATION

### ■開館(利用)時間

※グラントワは8:45から開館

石見美術館 9:30~18:00

(展示室への入場は開館30分前まで)

いわみ芸術劇場 9:00~22:00

### ■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)

※催しに合わせて休館日を変更する場合あり。

石見美術館 毎週火曜日、年末年始

いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始

※8/12(火)は臨時開館、8/19(火)は臨時休館



交通案内  
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分  
◎JR益田駅から徒歩15分  
◎秋・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分  
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分  
◎JR新山山口駅から益田駅まで特急約90分

### グラントワ Grand Toit

島根県芸術文化センター「グラントワ」

〒698-0022 益田市有明町5-15

TEL: 0856-31-1860(代表)

FAX: 0856-31-1884(代表)

e-mail: grandtoit@cul-shimane.jp

www.grandtoit.jp



## PICK UP EVENT

いつでもどこでもグラントワ いつでもどこでもジロー劇場!  
~魂のパフォーマンス、語るより感じる!~

2025年7月5日(土) 11:00~11:40 大ホールホワイエ  
鑑賞無料(申込不要)



「いつでもどこでも音楽祭」を、より気軽に色々な表現に出会えるミニ公演として「いつでもどこでもグラントワ」にリニューアル。7月は、魂の肉体表現者と称して日本全国で活躍する大道芸人・ジロー今村さんが登場! アツいパフォーマンスを、ぜひ間近で体感ください!

## 劇・場・を・探・る

### 【映写機】



映像が写ったフィルムを映写機にセットした後方から光をあてる事でスクリーンへ拡大、投影します。映像以外に音声情報もあり映写機に搭載されている音声認識装置で読み取り出します。フィルムは約20分で構成されており2時間の映画だと6巻程度のフィルムを2台の映写機で手動切替する方法と、専用アルミ箔を少量貼り電氣的に自動切替する方法があります。

今回は「袖幕」です。

グラントワ開館20周年記念

# Sadao Watanabe Quartet

## 渡辺貞夫

カルテット2025

# 6.22日

開場16:15 / 開演17:00

### いわみ芸術劇場大ホール

入場料 ※全席指定・税込 | [一般] 前売 8,500円

90歳を越えてなお第一線で活躍するサクソフォン奏者、レジェンド・渡辺貞夫のカルテット公演! 卓越したパフォーマンスで、心に響く、またとない特別な夜をお届けします。

チケット好評発売中

益田 島根県無形民俗文化財指定

# 糸操り人形

グラントワ 定期公演

地域で受け継がれてきた伝統芸能、益田糸操り人形。古い形態をどめた全国的にも貴重な人形芝居の公演を、ぜひグラントワでご鑑賞ください。

6月14日(土) チケット発売

2025年7月19日(土)

いわみ芸術劇場小ホール 開場 13:00 開演 13:30

演目 義経千本桜 すしやの段  
[人形と三味線の解説あり]

入場料 [全部自由・税込]  
[一般] 前売 500円 当日 600円 高校生以下 無料  
※無料記見サービスはありません。